



平成29年2月 静岡県水産技術研究所伊豆分場ニュース

## 伊豆分場建替えについて



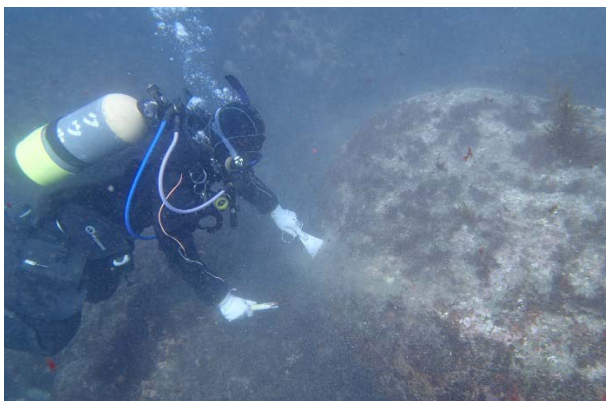
新しい伊豆分場の外観予想図

地震発生時の高台への避難路として隣接する国道への避難階段を設置し、また、そこへの最短距離の位置に玄関を設置するなどの安全対策を講じます。

伊豆分場は浅海漁業の振興発展を図る目的で昭和32年に創設されました。現在の庁舎は昭和45年に落成したもので、施設が老朽化し、耐震性に問題があるために、現地で建て替えを行うことになりました。平成29年度に水槽・庁舎解体、庁舎建設、水槽整備の順に着手し、平成30年度後半に開所、水槽等屋外施設は平成31年度前半に整備する予定です。新施設では新しい研究に対応するため大型水槽を設置します。また、研究成果PRや地元水産業の紹介のため、展示室における資料価値の高い展示物に加えて、屋外では試験研究水槽の一部を公開する予定です。なお、工事期間中は現敷地内に仮設庁舎を設置し業務を継続します。

## 稲取でテングサ漁場の雑海藻刈り

稲取地区は、かつて有数のテングサ産地でしたが、近年は漁獲量が減少したことで雑海藻が繁茂したテングサ漁場が増えています。伊豆漁協稲取支所では、地元のダイビングショップのダイバーと協力して、雑海藻を除去することでテングサ漁場を回復させる活動を行っています。毎回、200㎡程度の雑海藻を除去して、数年かけてテングサの漁場の回復をモニタリングしていく計画です。



カメラ等を使用して岩の表面の海藻を削り取ります。

## 富戸定置網ふじのくに奨励賞受賞

1月18日、静岡県庁で平成28年度「ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞」表彰式が行われ、「いとう漁業協同組合富戸定置網」が表彰されました。富戸定置網は、これまで、しずてつストアへの朝獲れ鮮魚の直接出荷やブリの新規販路開拓に取り組んでおり、こうした先進的な取組が評価され、表彰されることとなりました。富戸定置網の今後の更なる活躍を期待します。



解説：ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞：静岡県において、先進的かつ模範的な取り組みをした農林漁業者に与えられる賞で、県知事より表彰される。

**2月の予定** ●引き続き、稲取地区でテングサ場保全のために雑藻刈りを行います。 ●キンメダイ栽培漁業・蓄養研究のために、キンメダイの捕獲を行います。 ●6日に御前崎市で行われる食のワークショップで伊豆産乾燥ナマコ製造に向けた取り組みを紹介します。 ●20日に一都三県キンメダイ資源管理実践推進漁業者協議会が東京で開催されます。 ●24日に下田市教育委員会主催の水産・海洋学講座でテーマ「キンメダイ その漁業と生態」で講演を行います。

連絡先：静岡県水産技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835  
アドレス：[suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp](mailto:suigi-izu@pref.shizuoka.lg.jp) ホームページ：<http://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>  
会場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。